2023年　3月　29日

キャリアコンサルティング技能検定１級　論述・面接試験　合格体験記

１級受検番号NO　03F1620189　　氏名　M・H　（埼玉　在住）

■１級技能士を目指したきっかけ
職場で標準レベルの方や無資格の方からの相談に乗ることが増え、経験則ではなく理論に基づいた支援の必要を感じたことがきっかけです。また、自分の周囲にいるメンバーには、キャリア支援の仕事を心から楽しんで頂き、それぞれが自信をもってクライエントと向き合うことの手助けをしたいと考えました。 いつかは最高峰の試験に挑戦したいと思っていたため、自身の技術向上（自己研鑽）も理由の一つです。
■当初の勉強法
２級学科の対策で「キャリアの赤本」にお世話になっており、１級対策も書籍や講座で対策を取りました。 【書籍】１級キャリアの赤本、キャリアの青本、キャリアの青本プラス、１級実技試験合格バイブル、１日１問キャリコンドリル、９人の合格者の逐語記録 【講座】１級論述試験添削指導個別レッスン、具体的展開力強化１日講座、オンライン１級キャリア塾（全９回）（仕事で参加できない時は、録画データを共有頂けたことが大変助かりました。）
■合格のきっかけ
何故１級CC技能士を目指すのか、１級CC技能士としてどうありたいのか、「今後もこの人に相談に乗ってもらいたい」と事例相談者に思ってもらうためには、どのような態度やふるまいが必要なのかということを徹底的に考え続けました。その土台が固まっていなければ、いくら理論や知識を持っていたとしても意味をなさないと考えたからです。面接を受けるのは初めてでしたので、今の自分の全てを出し切ることを目標にしていました。結果が不合格であるなら、それが現時点での自分の実力であると謙虚に受け止めるつもりでいました。面接当日は、事例相談者の悩みをもってきたケースに限定せずに「そのような状況になったら、自分の関わり方に不安を感じてしまいますよね」という一言を用いて、ケースから離れるきっかけを作ることが出来ました。
■論述試験対策
オンライン１級キャリア塾で、論述試験が実技試験であることの意味を学びました。その後は、１級実技試験合格バイブルや添削個別指導レッスンの内容を振り返りながら、何度も繰り返し書いて枠組みを覚えました。 次に自分なりの言葉で書くこと、文字の大きさや書くスピード等、試験当日をイメージしながら読み手にわかりやすい答案用紙を作成することを心掛けました。
■面接試験対策
オンライン１級キャリア塾で講師の方から言われたとおり、まずはシステマチックアプローチと４つの評価区分の図を頭に叩き込みました。普段の業務を振り返った時に、システマチックアプローチの実践が出来ていることが見えてきたので、試験対策としてはそれ以上の意識はしていません。ロールプレイングを行う時間を取れなかった為、書籍の逐語録やDVDの動画を見ながら、自分であればどのような言葉をかけるか、その意図は何か、ということを考え続けました。意図を考えることが口頭試問の準備になると捉えていた為、日常業務でも脳内で口頭試問を繰り返していました。端的な回答を伝える練習になったと思います。
■受検される方へメッセージ
難関資格と言われるだけあり、対策を取る中で「これで大丈夫」と思える瞬間には出会えませんでした。ですが、それこそが絶対正解のないキャリア支援そのものなのだと思います。目の前の事例相談者の「役に立ちたい」という想いを大切に謙虚であり続けること、日々のコツコツとした積み重ねが１級ＣＣ技能士としての「ありたい自分」に導いてくれるのではないでしょうか。合格のその先を見据えて歩みを進められますよう頑張ってください。

©一般社団法人１級キャリアコンサルティング技能士の会